自立活動 ほっとにゅーす

香川県立聴覚支援学校
支援教育部・自立活動係
R8 10月号

★「セルフアドボカシー」って、何??★

「セルフアドボカシー」という言葉を知っていますか?日本語では、「自己権利擁護」と訳されます。自分の力を発揮するためには、自分のことを周りの人に説明して、必要なサポートを受けられるようにする必要があります。「授業が聞き取りにくいので、ロジャーマイクを使っていただけますか。補聴器に直接、先生の声が届くので、聞きやすくなります。」と、学校の先生にお願いできることも、セルフアドボカシーです。自分のきこえのことや、どんなサポートが必要かを、自分の言葉で説明する練習をしていきましょう。



★中高生交流会★

夏休み中、外来教育相談や通級を利用している中学生や高校生の交流会を、本校で行いました。同じ年頃の難聴のある中学生や高校生が集い、それぞれの学校での様子を話したり、悩みを聞いてもらったりと話が弾みました。

また、「ほっとにゅーす」5月号に登場した本校の卒業生の武智さんや本校の難聴のある職員から、体験談も聞きました。主なインタビュー内容をまとめてありますので、是非、読んでみてください。

Q.大学に入る時に必要な事は?

A.行きたい大学で、どんな支援が受けられるか調べておく。また、講義を受ける際、どのような支援が必要かをきちんと説明して、適切な支援を受けられるようにする事も大事。(例えばパソコンでのノートテークなどの支援があります。)

A.助けてくれる人、頼れる人をつくっておこう。



Q.大学に入ってからのアルバイト経験はありますか?

A.大学のアルバイトで、車いすユーザーの学生のサポートをしていました。

Q.一人暮らしをするときに気を付けることは?

A.部屋の乱れは心の乱れ。掃除はきちんとしました。他の人の迷惑にならないように生活音(テレビ、足音など)にも気を付けました。朝は振動式の目覚ましで起きていたよ。

A.不審者が入ってこないように、網戸にロックを付けました。火事や災害をライトで知らせてくれる

機械も使いました。何か聞こえても、何の音だか分からないのは怖いです。

Q.英語のリスニング問題はどうしていましたか？

A.聞き取りは難しいので、それよりも他の所をがんばりました。

A.英検ではテロップ表示などの配慮が受けられますよ。苦手なところよりも、他のところに時間をかけるようにしました。



Q.自立に向けて必要なことは？

A.補聴器の故障や聴力の異変など自分に何か起こった時、どこの誰に言えばよいか分かっている事。

A.自分でできることは、もちろん自分でするけど、全部を自分でできなくてもいい。自分の苦手は誰かの得意。色んな人とのかかわりの中で、やりたいことをやれるのが自立だと思います。

参加した中高生のみなさんからは、大学入学共通テストのリスニング免除の手続きや、同級生への難聴の説明、授業でグループ活動をするときの聞き取りの難しさ、Bluetoothを使った音楽の楽しみ方、カラオケの点数の悩みなど、話題が途切れることなく、盛り上がりました。

別の学校に行っても、聴覚支援学校を通して、難聴の友達とのつながりをずっともてるのは、なんだか心強いですね。みなさんも、周りの友達を大切に、時には力になってあげたり、時には頼ったりして、良い関係が築けるといいですね。